



藤本 みのる 通信

Vol 342

2020年4月1日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠853

電話/FAX 0554-56-7272

大月ウッドサプライ株式会社を視察

大月バイオマス発電所（2018.10 商業運転開始、大林組グループ大月バイオマス発電株式会社）に燃料の木質チップを供給する大月ウッドサプライ株式会社を3月27日、鈴木章司議員と2人で視察しました。

視察目的は、①放射線測定はきちんとされているか
②チップ素材の確認、でしたが、
いずれも適切に処理されていることを確認しました。

放射線測定は、搬入車の周囲を線量計で測定し、基準値（0.23 未満マイクロシーベルト/毎時）なら荷下ろし、さらにチップ上で測定、その日は $0.047 \mu\text{Sv/h}$ でした。市には毎月、当日最大値の月平均が報告されていますが、2月は $0.047 \mu\text{Sv/h}$ 。（放射線モニタリング情報によると、山梨県甲府市は3月25日 $0.040 \sim 0.066 \mu\text{Sv/h}$ でした。）

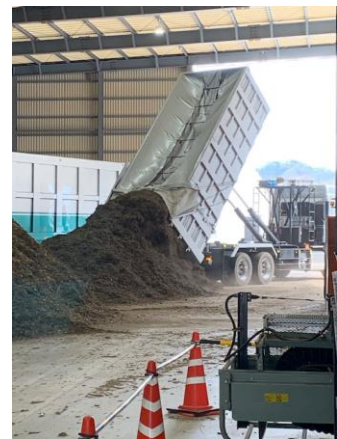
チップ素材に建築廃材が混入していないかを確認しましたが、混入しない理由も分かりました。1つは、搬入業者の協定違反となることから会社でも厳しく点検している。2つは、剪定枝より建築廃材由来のチップの方が高く売れるのでメリットはない。

木質チップは、ストックヤードで8対2の割合で黒と白が混ぜられ、バイオマス発電所に供給されます。

黒チップ：12万t/年、50km圏内の協定業者が剪定枝由来チップを搬入

白チップ：110～120t/日（3万t/年）、（有）東林業が原木や根株を隣接地で破砕し搬入

木質チップ搬入の様子



拡大した木質チップ



【藤本みのる活動日誌】

3月26日(木) 市長要請(新型コロナウイルス関連倒産を防ぐ対応を求める要望書)

3月27日(金) 大月ウッドサプライ(株)個人視察

河川崩落現場確認(朝日小沢)